

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報

第3号（平成24年度）

Annual Report of the Tokushima Prefectural Torii Ryuzo Memorial Museum
No. 3 (for the fiscal year of 2012)

目 次

| | | | |
|------------------|---|----------------|----|
| 展覧事業..... | 2 | 管理運営..... | 11 |
| 1．常設展 | | 1．組織・職員 | |
| 2．特別陳列 | | 2．観覧料減免の拡大 | |
| 3．その他の展示 | | 3．防災及び危機管理 | |
| 4．展示関係出版物 | | 4．鳥居龍蔵記念博物館協議会 | |
| | | 5．視察等来訪者 | |
| 調査研究事業..... | 7 | 観覧者統計..... | 13 |
| 1．研究成果の公表 | | 施設の概要..... | 15 |
| | | 1．沿革 | |
| 資料収集保存事業..... | 8 | 2．施設の概要 | |
| 1．館蔵資料数 | | 例規..... | 16 |
| 2．資料の貸出 | | | |
| 3．写真・映像等の提供 | | | |
| 4．資料閲覧 | | | |
| 普及教育事業..... | 9 | | |
| 1．普及行事 | | | |
| 2．講師の派遣 | | | |
| 3．インターネットによる情報発信 | | | |

展覧事業

鳥居龍蔵記念博物館の展示は、常設展と企画展、その他の展示からなる。

常設展は、鳥居龍蔵の生涯と研究業績を分かりやすく学ぶことができるよう3つの展示室で構成している。

東アジア各地における龍蔵の調査ルートを示すLEDランプで示す床地図、遼王朝の陵墓の復元模型とともに、収集した資料や写真を通して龍蔵の足跡が学べる展示内容としている。土器パズルや民族衣装などの体験学習キット、映像資料が検索・閲覧できるパソコンも設置している。24年度から、随時展示替える「トピックコーナー」を設けた。

常設展以外に、期間を限定して、特定のテーマに即して開催する企画展等がある。24年度は、特別陳列を1回開催したほか、文化の森の共同事業としての展示も開催した。

1. 常設展

(1) 展示構成

第1展示室 鳥居龍蔵の見たアジア

鳥居龍蔵のアジア調査の成果について、地域別に概観できるよう構成している。龍蔵が撮影した写真、龍蔵が採集した民族・考古資料を幅広く紹介している。

1. 台湾・中国西南部
2. 中国東北部・内モンゴル
3. 遼
4. 朝鮮半島
5. 千島列島・サハリン・シベリア
6. 日本列島

第2展示室 鳥居龍蔵の生涯

人類学を志した徳島での少年時代から、やがて東京に移ってからの研究、家族とともに携わった調査など、生涯にわたる足跡や多彩な交流の様子を紹介している。

1. 人類学への志
2. 家族とともに
3. 南アメリカ

第3展示室 鳥居龍蔵から学ぶもの

検索機能を備えたパソコンを設置したり書籍を配架したりして、鳥居龍蔵の学問的な成果が学べるととも

に、子どもも楽しめる体験学習キットを用意している。

1. 情報コーナー（パソコンを使った鳥居龍蔵撮影の写真の検索・閲覧や番組型コンテンツの提供）
2. 体験展示（土器パズル、カメラ体験、民族衣装の試着など）
3. 図書コーナー（鳥居龍蔵の著作などの閲覧用提供）

(2) トピックコーナーの設置

平成24年度より、第2展示室内の一部をトピックコーナーとし、未公開資料を中心に随時展示替えを行った。

平成24年度の実績は次のとおりである。

鳥居龍蔵と浮世絵

7月31日（火）～10月14日（日）

鳥居龍蔵の見た徳島

10月16日（火）～翌年度（4月7日（日））

2. 特別陳列

(1) 鳥居龍蔵とアイヌ 北方へのまなざし

平成24年度文化庁文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業：ミュージアム活性化支援事業）による、鳥居龍蔵記念博物館パワーアップ事業の一環として開催した。

鳥居龍蔵は、1899（明治32）年に千島列島で、そして1912（明治45・大正元）年と1921（大正10）年にはサハリンで、人類学調査を行った。千島列島では、千島アイヌについて調査を行い、生活文化等を記録したほか、日本石器時代人はアイヌ民族であったと考え、日本人起源論研究に大きな足跡を残した。サハリンでは、樺太アイヌ、ウイльта、ニヴフの生活文化等を調査し、日本の北方にみよ民族の比較研究をした。また、故郷徳島の城山貝塚を含む日本各地で発掘調査を行い、石器時代（縄文遺跡）の遺跡を「アイヌの遺蹟」ととらえた。

この展示では、約100年前に鳥居龍蔵が収集した北方の民族に関する資料を紹介するとともに、日本人類学黎明期のアイヌ研究や、現代にいたるまでのアイヌ民族の歴史と文化についても紹介した。

平成24年度文化庁文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）

特別陳列

鳥居龍蔵とアイヌ

北方へのまなざし

平成25年
1月26日[土]—3月3日[日]
月曜日休館 観覧無料

※2月11日(月・祝)は開館、翌日(2/12)が休館

会場 徳島県立博物館企画展示室
主催 鳥居龍蔵記念博物館パワーアップ事業実行委員会
特別協力 国立民族学博物館、財団法人千里文化財団、宇都宮大学 廣瀬隆人研究室

文化の森総合公園
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
TEL 088-668-2544 FAX 088-668-7197
http://www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp/

特別陳列

鳥居龍蔵とアイヌ

北方へのまなざし

徳島出身の鳥居龍蔵(1870-1953)は、東京帝国大学理学部人類学教室から派遣され、1899(明治32)年に千島列島、そして1912(明治45・大正元)年と1921(大正10)年にサハリンで人類学調査を行いました。千島列島では、千島アイヌの生活文化などの調査や、住居跡の発掘調査をしました。サハリンでは、樺太アイヌ、ニヴフ、ウイロタの生活文化などを調査し、日本の北方にくらす民族の比較研究をしました。また、故郷徳島の城山貝塚を含む日本各地で発掘調査を行い、石器時代(縄文時代)の遺物を「アイヌの遺蹟」ととらえました。

この特別陳列では、約100年前に鳥居龍蔵が収集した北方民族に関する資料をご紹介します。また、日本人類学黎明期のアイヌ研究や、現代にいたるアイヌ民族の歴史と文化についても紹介します。

「会期中の関連行事」

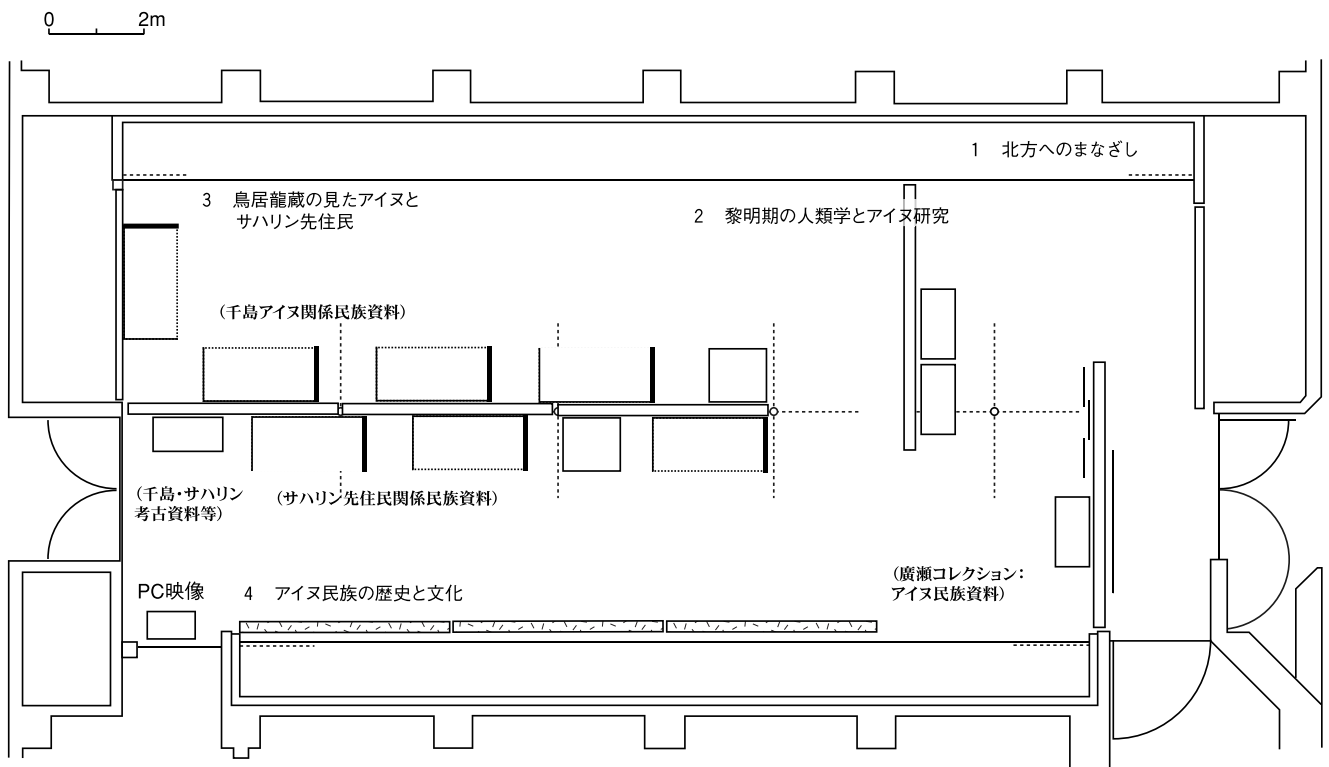
- ☆ギャラリートーク①
日時 1月26日(土) 13:30-14:30
会場 企画展示室
講師 廣瀬隆人氏(国立民族学博物館助教)
- ☆ギャラリートーク②
日時 2月3日(日) 13:30-14:30
会場 企画展示室
講師 当館学芸員
- ☆ギャラリートーク③
日時 2月23日(土) 13:30-15:00
会場 企画展示室
講師 廣瀬隆人氏(宇都宮大学教授)、出館学芸員
- ☆記念講演
日時 2月17日(日) 13:30-15:00
会場 イベントホール
講師 佐々木史郎氏(国立民族学博物館教授)
- ☆ワークショップ①「アイヌ文化を体験しよう—食文化に親しむ」
日時 2月11日(金) 10:00-11:30、13:30-15:00
定員 各回20名 ※小学生は保護者同伴
受付 2階常設展前(先着順)
- ☆ワークショップ②「アイヌ文化を体験しよう—文様に親しむ」
日時 2月24日(日) 10:00-12:00
会場 実習室
定員 30名(事前申込) ※小学生は保護者同伴
講師 高尾戸美氏(MarbleWorkshop代表)
- ☆ワークショップ③「アイヌ文化を体験しよう—文様に親しむ」
日時 2月24日(日) 13:00-14:00
会場 実習室
定員 30名(事前申込) ※小学生は保護者同伴
講師 高尾戸美氏(MarbleWorkshop代表)

ワークショップ②③に参加ご希望の方は、往復ハガキに、希望する行事名、参加希望者全員の氏名・学年、住所、電話番号を明記の上、鳥居龍蔵記念博物館までお送りください。2月14日(木)必着。希望者多数の場合は抽選となります。あらかじめご了承ください。

文化の森総合公園
徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
TEL 088-668-2544 FAX 088-668-7197
http://www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp/

「鳥居龍蔵とアイヌ」チラシ



「鳥居龍蔵とアイヌ」展示配置図

4 展覧事業



第1回ギャラリートーク



第4回ギャラリートーク



記念講演会



ワークショップ「手作りカメラ体験」



ワークショップ「食文化に親しむ」



ワークショップ「文様に親しむ」

主催 鳥居龍蔵記念博物館パワーアップ事業実行委員会

特別協力 国立民族学博物館、財団法人千里文化財団、宇都宮大学 廣瀬隆人研究室

会場 徳島県立博物館企画展示室

会期 平成25年1月26日(土)～3月3日(日)
(開館日数32日)

展示構成とおもな展示資料

(1) 北方へのまなざし

「蝦夷地」という空間

・北海道国郡図 当館蔵

アイヌをめぐる情報とイメージ

・東蝦夷日誌、蝦夷漫画 当館蔵

阿波の先人・岡本韋庵とサハリン

・岡本韋庵肖像(写真)北海道大学附属図書館提供

・北門急務、北蝦夷新志、岡本韋庵宛郡司成忠書翰 徳島県立図書館蔵

(2) 黎明期の人類学とアイヌ研究

ヨーロッパ人のアイヌへの視線

・千島誌、日本亜細亜協会でのマンローの講演記録 当館蔵

アイヌ研究を進めた人類学者たち

・坪井正五郎らの収集した民族資料(盆、皿、首飾り、小刀鞘等)国立民族学博物館蔵

コロボックル・アイヌ論争

・日本旧土人「コロボックル」石斧ヲ研ギ獣肉ヲ煮ル図(写真)東京大学総合研究博物館蔵提供

・東京人類学会雑誌、人類学研究、日本人種論変遷史 当館蔵

コロボックル・アイヌ論争以後

・城山貝塚出土遺物 東京大学総合研究博物館蔵

・徳島公園城山遺跡遺物集、徳島公園古代遺跡整理案 徳島県立図書館蔵

・国津神時代ニ於ケル徳島城山遺跡地 当館蔵

(3) 鳥居龍蔵の見たアイヌとサハリン先住民

千島列島調査

・千島アイヌ、東京帝国大学理科大学紀要第42冊第1編 当館蔵

・海鳥エトピリカの皮製服、人形、帯飾り 東京大学総合研究博物館蔵

・鳥居龍蔵の収集した民族資料(船 模型、仮面 模型、籠、針刺し等)国立民族学博物館蔵

・内耳土器、骨鏃、ガンフリント 東京大学総

合研究博物館蔵

サハリン調査

・樺太案内、黒龍江と北樺太 当館蔵

・鳥居龍蔵の収集した民族資料(玩具人形、ゆりかご、食器、儀式用具等)国立民族学博物館蔵

・打製石斧、彫刻のある骨製針入れ等 東京大学総合研究博物館蔵

(4) アイヌ民族の歴史と文化

アイヌの人たちとともに

・パネル「アイヌの人たちとともに」財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構蔵

廣瀬コレクション

・浦川太八氏制作の工芸品等 宇都宮大学廣瀬隆人研究室蔵

観覧料 無料

観覧者数 5,465人

関連行事

ギャラリートーク

第1回：日時 1月26日(土)午前10時～11時

講師 齋藤玲子氏(国立民族学博物館助教・監修協力者)

参加者 42人

第2回：日時 1月26日(土)

午後1時30分～午後2時30分

講師 齋藤玲子氏(国立民族学博物館助教・監修協力者)

参加者 58人

第3回：日時 2月3日(日)

午後1時30分～午後2時30分

講師 当館学芸員

参加者 23人

第4回：日時 2月23日(土)

午後1時30分～午後3時

講師 廣瀬隆人氏(宇都宮大学教授)、高尾戸美氏(Marble Workshop代表)、当館学芸員

参加者 46人

記念講演会

日時 2月17日(日)午後1時30分～午後3時

会場 文化の森イベントホール

講師 佐々木史郎氏(国立民族学博物館教授)

演題 「鳥居龍蔵が出会った北方世界 先住民の虚像と実像」

参加者 63人

ワークショップ

第1回：「手作りカメラ体験」

6 展覧事業

日時 2月11日(月・祝)午前10時～11時、
午前11時30分～正午、午後1時～2時、
午後2時30分～午後3時30分

会場 徳島県立博物館実習室

総参加者 199人

第2回：「アイヌ文化を体験しよう 食文化に親しむ」

日時 2月24日(日)午前10時～正午

会場 徳島県立博物館実習室

講師 高尾戸美氏(Marble Workshop代表)

参加者 29人

第3回：「アイヌ文化を体験しよう 文様に親しむ」

日時 2月24日(日)午後1時～午後2時

会場 徳島県立博物館実習室

講師 高尾戸美氏(Marble Workshop代表)

参加者 15人

3. その他の展示

(1) 2012年度文化の森人権問題啓発展

文化の森6館と徳島県教育委員会人権教育課との共催で、人権問題啓発展(識字学級生の作品を中心とする展示)を行った。

主催 文化の森6館・徳島県教育委員会人権教育課

期間 平成24年12月4日(火)～12月9日(日)

会場 近代美術館ギャラリー、ミニシアター(ビデオ上映)

入場者数 356人

4. 展示関係出版物

(1) 特別陳列パンフレット

特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌ」パンフレット

2013年1月26日発行、A4判、16ページ、3,000部

(鳥居龍蔵記念博物館パワーアップ事業実行委員会編集・発行)

調査研究事業

鳥居龍蔵記念博物館では、設置の趣旨にもとづき、鳥居龍蔵とその周辺に関する調査研究を進めることで、最新の情報を盛り込んだ展示や内容豊かな普及活動による鳥居龍蔵の顕彰を図るための基盤整備を進めている。とくに、館蔵資料に即した調査研究に重点を置いて取り組んでいく方針である。

現在、専任の学芸スタッフ2名を中心に、兼務職員とともにこの業務に携わっている。

1. 研究成果の公表

(1) 鳥居龍蔵記念博物館研究報告第1号の発行

2013年3月29日発行、A4判181ページ、600部

(*は館外研究者)

特集「鳥居龍蔵と城山貝塚調査」

石尾和仁：特集「鳥居龍蔵と城山貝塚調査」にあたって . p.3-8 .

石尾和仁：資料紹介 城山貝塚調査写真 . p.9-133 .

長谷川賢二：井上達三『国津神時代ニ於ケル徳島城山遺跡地』解題 . p.135-147 .

論説

吉開将人*：鳥居龍蔵と銅鼓研究 鳥居を「民族史学者」へと導いたもの . p.149-169 .

石尾和仁：鳥居龍蔵の第5回台湾調査をめぐって . p.171-181 .

(2) 公表論文・報告・記事等一覧

(研究報告を除く)

学術的著述

石尾和仁(2013.3)鳥居龍蔵の「民俗」へのまなざし . 史窓(43):119-128 .

一般著述

石尾和仁(2012.10)鶏冠壺 . 徳島新聞10月5日夕刊(こども新聞) .

石尾和仁(2013.1)博物館紹介：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 . 荒川慎太郎・澤本光弘・高井康典行・渡辺健哉編「契丹[遼]と10~12世紀の東部ユーラシア」, 勉誠社:278-282 .

下田順一(2013.2)海鳥エトピリカの皮製履 . 徳島新聞2013年2月15日夕刊(こども新聞)

資料収集保存事業

鳥居龍蔵記念博物館では、鳴門市にあった旧館（鳥居記念博物館）から引き継いだ資料の詳細な調査・整理やデータ登録、保存を資料収集保存事業の中心としている。平成24年度は、臨時補助員1名及び文化推進員2名の援助を得て作業を進めた。

また、鳥居龍蔵に関連する資料の新規購入にも努めた。25度以降も引き続き、新規収集を心がけていきたい。

1. 館蔵資料数

考古資料・民族資料・書籍類・写真・拓本・自筆原稿・書簡等の総数は約63,000点である。調査・整理を継続しており、実数は未だつかめていないが、未開封だった資料の精査が進んできたため、総数としては増加傾向にあると思われる。

また、24年度は、今後の企画展等の開催計画や情報収集、展示用資料の充実を考慮して、歴史的文献、参考図書を計51点購入した。

2. 資料の貸出

緑釉鬼面文軒丸瓦ほか考古資料 5点
横浜ユーラシア文化館（展示資料）

3. 写真・映像等の提供

モンゴルの人々ほか写真 14点
横浜ユーラシア文化館（展示資料）
鳥居龍蔵肖像ほか写真 5点
八尾市立歴史民俗資料館（展示資料）
鳥居龍蔵肖像ほか写真 2点
NHKエデュケーショナル教育部大学教務室（映像）
第1展示室内写真 1点
四国経済連合会（スマートフォン用アプリケーションに使用）
鳥居龍蔵肖像ほか写真 2点
芳林社（雑誌掲載）
鳥居龍蔵肖像写真 1点
野田秀佳氏（印刷物掲載）

第1展示室内写真 1点
徳島市企画政策課（ホームページ掲載）
鳥居龍蔵肖像写真 1点
読売新聞東京本社（記事掲載）
鳥居龍蔵肖像写真 1点
NHKプラネット北海道支社（映像）
鳥居龍蔵肖像写真 1点
岡山大学文学部 松本直子氏（書籍掲載）
鳥居龍蔵肖像ほか写真 34点
徳島県教育委員会学校政策課（教材）

4. 資料閲覧

西都原古墳群調査スケッチ
宮崎県立西都原考古博物館（福田泰典氏）
ガラス乾板 大谷大学（武田和哉氏）
鹿児島・熊本調査時のスケッチ
鹿児島県考古学会（池畑耕一氏）
肥後考古学会（高木正文氏）
千島アイヌ調査関連メモ
北海道立北方民族博物館（渡部裕氏）

普及教育事業

鳥居龍蔵記念博物館における普及教育事業は、鳥居龍蔵の顕彰を推進するための県民に対する情報発信の意味をもち、重要である。また、調査研究や資料収集保存の成果を示すという意味でも、展示とともに意義深い事業といえる。

1. 普及行事

平成24年度は、県立博物館や文化の森のイベントに参加して体験コーナーを開設したほか、特別陳列関連行事を行った。

「博物館こどもの日フェスティバル」(手作りカメラ体験、すごろく広場)

5月5日(土・祝)

「文化の森 サマーフェスティバル」(馬頭琴の音色を聞こう!、モンゴルのおはなしと展示解説)

8月19日(日)

「文化の森 大秋祭り!」(ザ・すごろくとぬり絵にチャレンジ!) 11月3日(日・祝)

ミュージアムトーク「土俗会の設立と鳥居龍蔵」
9月30日(日) 5人

ミュージアムトーク「鳥居龍蔵とアイヌ」
11月25日(日) 27人

特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌ 北方へのまなざし」
ギャラリートーク第1回

1月26日(土) 42人

特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌ 北方へのまなざし」
ギャラリートーク第2回

1月26日(土) 58人

特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌ 北方へのまなざし」
ギャラリートーク第3回

2月3日(日) 23人

特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌ 北方へのまなざし」
ギャラリートーク第4回

2月23日(土) 46人

特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌ 北方へのまなざし」
記念講演会

2月17日(日) 63人

特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌ 北方へのまなざし」
ワークショップ第1回

2月11日(月・祝) 199人

特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌ 北方へのまなざし」



ミュージアムトーク

ワークショップ第2回

2月24日(日) 29人

特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌ 北方へのまなざし」

ワークショップ第3回

2月24日(日) 15人

2. 講師の派遣

外部機関・団体等からの講師派遣依頼について、業務に支障のない範囲で、普及教育事業の一環として対応している。

6月21日 石尾和仁 中国・四国地区コンベンション推進協議会総会で講演「鳥居龍蔵の見たアジア」(アスティとくしま)

7月5日 下田順一 徳島県シルバー大学校吉野川校で講演「鳥居龍蔵の見たアジア」(吉野川文化研修センター)

7月11日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校美馬校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(美馬市脇町庁舎)

7月12日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校鳴門校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(鳴門地域地場産業振興センター)

7月23日 下田順一 徳島県シルバー大学校上板校で講演「鳥居龍蔵の見たアジア」(上板町老人福祉センター)

10 普及教育事業

- 7月31日 下田順一 徳島県シルバー大学校東みよし校で講演「鳥居龍蔵の見たアジア」(東みよし町東部総合福祉センター)
- 8月7日 下田順一 徳島県シルバー大学校小松島校で講演「鳥居龍蔵の見たアジア」(小松島市総合福祉センター)
- 9月21日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校徳島校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(県立総合福祉センター)
- 11月28日 下田順一 徳島県シルバー大学校阿南校で講演「鳥居龍蔵の見たアジア」(阿南ひまわり会館)
- 2月4日 石尾和仁 徳島県シルバー大学校牟岐校で講演「鳥居龍蔵とその時代」(牟岐町海の総合文化センター)

3 . インターネットによる情報発信

鳥居龍蔵記念博物館のホームページを開設し、事業の紹介や学習教材提供などを行っている。内容は次のとおりである。平成24年度には、特別陳列「鳥居龍蔵とアイヌ」パンフレットや研究報告第1号のPDFファイルをダウンロードできるようにし、内容の充実を図った。

- ・展示・行事等の案内
- ・アクセス案内
- ・学校教育での利用(遠足)の案内
- ・常設展示の紹介
- ・鳥居龍蔵の生涯(年表)
- ・よみもの「阿波の偉人再発見! 鳥居龍蔵」
(県政だよりOURとくしま連載の再掲)
- ・鳴門市にあった旧館(徳島県立鳥居記念博物館)の紹介
- ・出版物PDFファイルダウンロードコーナー

管理運営

1. 組織・職員

(1) 組織図（平成25年4月1日現在）

館長 [1] 副館長 [1] 学芸課 4 [3]
 （学芸員 2 [3]
 臨時補助員 1、
 文化推進員 1）

[] は兼務者数

(2) 職員名簿（平成25年4月1日現在）

館長 高島 芳弘（県立博物館長本務）
 副館長 美保 洋祐（県立博物館副館長本務）
 学芸課長 長谷川賢二（県立博物館人文課長本務）
 主任 下田 順一
 主任 谷 博美
 主任学芸員 松永 友和（県立博物館主任学芸員本務）
 学芸員 岡本 治代（県立博物館学芸員本務）
 臨時補助員 泉 奈津美
 文化推進員 土居貴代子

(3) 人事異動

（平成24年10月1日付）

新採・兼務：岡本 治代・学芸員（県立博物館学芸員本務）

（平成25年3月31日付）

兼務解除：石尾 和仁・二十一世紀館文化の森企画広報室

（平成25年4月1日付）

兼務解除・転出：板東 敏之・副館長、西部総合県民局保健福祉環境部 三好 副部長へ

転出：石尾 和仁・専門学芸員、人権教育課へ

転入・兼務：美保 洋祐・副館長（県立博物館副館長本務）

転入：谷 博美・主任（鳴門高等学校教諭）

兼務：下田 順一・二十一世紀館文化の森企画広報室

(4) 平成24年度臨時・非常勤職員

臨時補助員

工藤 仁嗣（平成24.4.1～25.3.31）

文化推進員（非常勤特別職）

一宮 佳代（平成22.4.1～25.3.31）

土居貴代子（平成24.1.4～）

2. 観覧料減免の拡大

高齢者（65歳以上）や障がい者へのサービス向上が図られることになり、平成24年9月1日から、高齢者の常設展観覧料が無料、企画展観覧料が一般料金の半額となり、障がい者と介助者1名は常設展・企画展ともに観覧料が無料となった。

3. 防災及び危機管理

(1) 危機管理体制

文化の森3館棟で消防防災計画を立て、二十一世紀館、博物館、近代美術館、当館と文化の森の警備、設備、食堂等の業者で自衛消防隊を組織し、訓練を行って非常時に備えている。

(2) 防災訓練

11月20日、二十一世紀館を中心とした自衛消防隊による防火防災訓練を行った。訓練実施時間を開館時間帯に設定することで、実践性を高めるよう工夫した。

4. 鳥居龍蔵記念博物館協議会

鳥居龍蔵記念博物館協議会は、運営に関し館長の諮問に応じるとともに、館長に対して意見を述べる機関で、博物館法及び徳島県文化の森総合公園文化施設条例の規定にもとづき設置されている。委員は、県立博物館協議会委員による兼務である。

平成24年度は、県立博物館協議会を兼ねて1回開催した。

24年度鳥居龍蔵記念博物館協議会

日時：平成24年8月28日（火）

午後1時30分～4時10分

会場：県立博物館講座室

議事

(1)平成23年度事業の実施状況について

(2)平成24年度事業計画について

(3)その他

平成24年度鳥居龍蔵記念博物館協議会委員

| 区分 | 氏名 | 役職等 |
|------|-------|---------------------------------|
| 学校教育 | 下川 純代 | 県小学校教育研究会理科部会理事 (白地小学校長) |
| | 三木 宏亮 | 県中学校社会科教育研究会会長 (池田中学校長) |
| | 山下 知之 | 県高等学校教育研究会地歴学会 副会長(新野高等学校教頭) |
| 社会教育 | 松下 師一 | 松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館館長補佐兼主任学芸員 |
| | 町田 哲 | 鳴門教育大学大学院准教授 |
| 学識経験 | 玉有 繁 | 徳島文理大学教授 |
| | 野水 祥子 | 青年海外協力会会員 |
| | 佐藤 陽香 | 徳島新聞社編集局文化部記者 |
| 家庭教育 | 松島真由美 | 八万中学校PTA本部役員 |
| | 嶋田由紀子 | 徳島県立博物館イベントボランティア |

は会長、 は副会長

5 . 視察等来訪者

- 4月23日 横浜ユーラシア文化館 畠山 禎氏
5月18日 和歌山県立博物館 前田正明氏
9月11日 横浜市歴史博物館 高橋健氏
11月10日 札幌学院大学 白杵 勲氏ほか 計2人
12月9日 日本考古学史・人類学史研究所 守屋幸一氏
1月13日 京都橘大学 弓場紀知氏
1月14日 南京大学 特 木勲氏
1月31日 中国社会科学院 董 新林氏、大谷大学 武田和哉氏、中国人民大学 森谷一樹氏、京都大学 毛利英介氏
2月7日 北海道大学アイヌ・先住民研究センター 佐々木利和氏ほか 計4人
2月7～8日 宮崎県立西都原考古博物館 福田泰典氏
2月8日 東亜細亜考古学会長 任 孝宰氏ほか 計2人
2月26日 国立民族学博物館 齋藤玲子氏ほか研究グループ一行
3月7日 大谷大学 武田和哉氏
3月12～14日 鹿児島県考古学会 池畑耕一氏、肥後考古学会 高木正文氏
3月27日 北海道立北方民族博物館 渡部 裕氏

観覧者統計

平成24年度 常設展観覧者数

| 月 | 開館日数 | 有 料 観 覧 者 | | | | | | | | | | 無 料 観 覧 者 | | | | | | | | | | | | | | 観覧者総数 | | | | | |
|-----|------|-----------|--------|-------|-----------|--------|-------|-----------|------|--------|-------|-----------|---------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|------|-------|-------|--------|-----|-------|-----|-------|-------|--------|--------|
| | | 個人 | | | 団体(割引20%) | | | 減免(割引50%) | | | | 有料観覧者計 | 学 校 教 育 | | | | | | | 個 人 | | | | | | | | | | | |
| | | 一般 | 高校・大学生 | 小・中学生 | 一般 | 高校・大学生 | 小・中学生 | 大人 | | 高校・大学生 | 小・中学生 | | 幼稚園・保育園 | 小学校 | 中学校 | 高 校 | 計 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 障がい者 | 高齢者 | その他 | 無料観覧者計 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 高齢者 | 障がい者 | | | | | | | | | | | | | | | | 人数 | | 人数 | 人数 | 人数 | 人数 | 人数 |
| 4月 | 26 | 42 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 39 | 3 | 42 | 0 | 0 | 89 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 334 | 1 | 334 | 146 | 14 | 9 | - | - | 239 | 742 | 831 | |
| 5月 | 26 | 59 | 1 | 2 | 5 | 0 | 0 | 35 | 17 | 52 | 0 | 0 | 119 | 1 | 12 | 13 | 1,136 | 0 | 0 | 0 | 14 | 1,148 | 509 | 25 | 10 | - | - | 1,058 | 2,750 | 2,869 | |
| 6月 | 26 | 50 | 5 | 0 | 26 | 0 | 0 | 25 | 2 | 27 | 0 | 0 | 108 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45 | 1 | 3 | - | - | 34 | 83 | 191 | |
| 7月 | 26 | 40 | 19 | 1 | 1 | 0 | 0 | 21 | 0 | 21 | 0 | 0 | 82 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 1 | 7 | 2 | 10 | 327 | 35 | 14 | - | - | 766 | 1,152 | 1,234 | |
| 8月 | 28 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,104 | 81 | 41 | - | - | 3,288 | 4,514 | 4,514 | |
| 9月 | 26 | 92 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | - | - | - | - | - | 97 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 152 | 9 | 14 | 55 | 100 | 182 | 512 | 609 | |
| 10月 | 26 | 66 | 3 | 0 | 5 | 0 | 0 | - | - | - | - | - | 74 | 0 | 0 | 11 | 615 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 615 | 161 | 7 | 18 | 25 | 153 | 156 | 1,135 | 1,209 |
| 11月 | 26 | 49 | 2 | 0 | 12 | 0 | 0 | - | - | - | - | - | 63 | 0 | 0 | 6 | 537 | 0 | 0 | 0 | 6 | 537 | 248 | 18 | 6 | 10 | 198 | 760 | 1,777 | 1,840 | |
| 12月 | 24 | 41 | 40 | 0 | 3 | 0 | 0 | - | - | - | - | - | 84 | 0 | 0 | 2 | 124 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 124 | 60 | 11 | 2 | 11 | 51 | 107 | 366 | 450 |
| 1月 | 23 | 42 | 4 | 0 | 1 | 0 | 0 | - | - | - | - | - | 47 | 1 | 170 | 1 | 38 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 208 | 63 | 10 | 7 | 7 | 122 | 95 | 512 | 559 |
| 2月 | 24 | 78 | 11 | 1 | 4 | 0 | 0 | - | - | - | - | - | 94 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 | 0 | 0 | 1 | 6 | 131 | 4 | 5 | 12 | 129 | 471 | 758 | 852 |
| 3月 | 27 | 62 | 16 | 0 | 3 | 0 | 0 | - | - | - | - | - | 81 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 143 | 10 | 6 | 9 | 76 | 100 | 344 | 425 | |
| 計 | 308 | 621 | 106 | 4 | 65 | 0 | 0 | 120 | 22 | 142 | 0 | 0 | 938 | 2 | 182 | 33 | 2,450 | 2 | 9 | 2 | 341 | 39 | 2,982 | 3,089 | 225 | 135 | 129 | 829 | 7,256 | 14,645 | 15,583 |

常設展観覧者数累計(平成22年度~24年度)

| 年度 | 開館日数 | 有 料 観 覧 者 | | | | | | | | | | 無 料 観 覧 者 | | | | | | | | | | | | | | 観覧者総数 | | | | | |
|----|------|-----------|--------|-------|-----------|--------|-------|-----------|------|--------|-------|-----------|---------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|------|-----|-------|--------|-----|-------|-----|-----|--------|--------|--------|
| | | 個人 | | | 団体(割引20%) | | | 減免(割引50%) | | | | 有料観覧者計 | 学 校 教 育 | | | | | | | 個 人 | | | | | | | | | | | |
| | | 一般 | 高校・大学生 | 小・中学生 | 一般 | 高校・大学生 | 小・中学生 | 大人 | | 高校・大学生 | 小・中学生 | | 幼稚園・保育園 | 小学校 | 中学校 | 高 校 | 計 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 障がい者 | 高齢者 | その他 | 無料観覧者計 | | | | | | | |
| | | | | | | | | 高齢者 | 障がい者 | | | | | | | | | | | | | | | | 人数 | | 人数 | 人数 | 人数 | 人数 | 人数 |
| 22 | 121 | 909 | 33 | 6 | 66 | 0 | 0 | 790 | 49 | 839 | 0 | 0 | 1,853 | 9 | 540 | 15 | 851 | 2 | 12 | 1 | 15 | 27 | 1,418 | 1,259 | 60 | 37 | - | - | 3,432 | 6,206 | 8,059 |
| 23 | 309 | 895 | 77 | 13 | 71 | 44 | 0 | 556 | 84 | 640 | 0 | 0 | 1,740 | 1 | 90 | 32 | 2,179 | 7 | 641 | 3 | 332 | 43 | 3,242 | 2,950 | 270 | 214 | - | - | 8,510 | 15,184 | 16,924 |
| 24 | 308 | 621 | 106 | 4 | 65 | 0 | 0 | 120 | 22 | 142 | 0 | 0 | 938 | 2 | 182 | 33 | 2,450 | 2 | 9 | 2 | 341 | 39 | 2,982 | 3,089 | 225 | 135 | 129 | 829 | 7,256 | 14,645 | 15,583 |
| 計 | 738 | 2,425 | 216 | 23 | 202 | 44 | 0 | 1,466 | 155 | 1,621 | 0 | 0 | 4,531 | 12 | 812 | 80 | 5,480 | 11 | 662 | 6 | 688 | 109 | 7,642 | 7,298 | 555 | 386 | 129 | 829 | 19,198 | 36,035 | 40,566 |

平成24年度 企画展観覧者数(平成23年度~24年度)

| 年度 | 開催日数 | 有 料 観 覧 者 | | | | | | | 無 料 観 覧 者 | | | | | | | 観覧者総数 | | |
|----|------|-----------|--------|-------|-----------|--------|-------|--------|-----------|--------|-------|---|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| | | 個人 | | | 団体(割引20%) | | | 有料観覧者計 | 減免(割引50%) | | | | 有料観覧者計 | 高校・大学生 | 小・中学生 | | その他 | 無料観覧者計 |
| | | 一般 | 高校・大学生 | 小・中学生 | 一般 | 高校・大学生 | 小・中学生 | | 一般 | 高校・大学生 | 小・中学生 | | | | | | | |
| 23 | 38 | 549 | 21 | 1 | 14 | 1 | 0 | 559 | 34 | 593 | 0 | 0 | 1,179 | 20 | 1,037 | 363 | 1,420 | 2,599 |
| 24 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合計 | 38 | 549 | 21 | 1 | 14 | 1 | 0 | 559 | 34 | 593 | 0 | 0 | 1,179 | 20 | 1,037 | 363 | 1,420 | 2,599 |

特別陳列観覧者数累計(平成23年度~24年度)

| 展示会名 | 開催期間 | 開催日数 | 観覧者総数 |
|--------------|---------------------|------|-------|
| 鳥居龍蔵の見た北東アジア | 平23. 10. 29 ~ 12. 4 | 32 | 4,534 |
| 鳥居龍蔵とアイヌ | 平25. 1. 26 ~ 3. 3 | 32 | 5,465 |
| 合 計 | | 64 | 9,999 |

人権啓発展観覧者数累計(平成22年度~24年度)

| 展示会名 | 開催期間 | 開催日数 | 観覧者総数 |
|---------------|---------------------|------|-------|
| 2010年度人権問題啓発展 | 平22. 11. 30 ~ 12. 5 | 6 | 670 |
| 2011年度人権問題啓発展 | 平23. 12. 6 ~ 12. 11 | 6 | 383 |
| 2012年度人権問題啓発展 | 平24. 12. 4 ~ 12. 9 | 6 | 356 |
| 合 計 | | 18 | 1,409 |

その他(啓発展を除く共催事業)観覧者数累計

| 展示会名 | 開催期間 | 開催日数 | 観覧者総数 |
|-----------------|------------------------|------|-------|
| 鳥居龍蔵が見た「祭り」「踊り」 | 平23. 7. 20 ~ 23. 8. 28 | 36 | 4,038 |
| 合 計 | | 36 | 4,038 |

14 観覧者統計

利用者総数年度別一覧

| 年度 | 常 設 展 | | 常設展 観覧者 合 計 | 企画展 観覧者 | 特別陳列 観 覧 者 | 移動展 | 普及行事 参 加 者 | その他 | 利用者総数 |
|------|------------|------------|-------------------|------------|---------------|-----|---------------|-------|--------|
| | 有 料 観覧者 | 無 料 観覧者 | | | | | | | |
| 22年度 | 1,853 | 6,206 | 8,059 | 0 | 0 | 0 | 236 | 670 | 8,965 |
| 23年度 | 1,740 | 15,184 | 16,924 | 2,599 | 4,534 | 0 | 412 | 4,421 | 28,890 |
| 24年度 | 938 | 14,645 | 15,583 | 0 | 5,465 | 0 | 1,968 | 356 | 23,372 |
| 累 計 | 4,531 | 36,035 | 40,566 | 2,599 | 9,999 | 0 | 2,616 | 5,447 | 61,227 |

・特別陳列は自主事業のみの観覧者数。その他は、人権啓発展と共催事業を合わせた観覧者数。

(参考) 鳥居記念博物館(旧館)の観覧者数(平成15年度~21年度)

| 年度 | 有 料 観 覧 者 | | | | | | | | | 無 料 観 覧 者 | | | | | | | 観覧者 総 数 | | |
|------|-----------|------|-------|-----|-----|------|------|-------------|-----------------|-----------|-----|-----|-------|-----|----|------|------------|-----------------|-------|
| | 個 人 | | | 団 体 | | | | 高 齢 者 | 有 料 観覧者 計 | 学校教育(免除) | | | 個 人 | | | | | 無 料 観覧者 計 | |
| | 小・中 | 高・大 | 一般 | 小・中 | 高・大 | 一般 | 一般 | | | 小学校 | 中学校 | 高校 | 小学校 | 中学校 | 高校 | 障がい者 | | | その他 |
| | 70円 | 120円 | 240円 | 50円 | 70円 | 120円 | 190円 | 120円 | | | | | | | | | | | |
| 15年度 | 25 | 14 | 3,003 | 0 | 0 | 69 | | 410 | 3,521 | | | | 648 | 349 | 40 | 26 | 721 | 1,784 | 5,305 |
| 16年度 | 12 | 144 | 2,600 | 0 | 29 | 185 | 72 | 488 | 3,530 | 114 | 292 | 0 | 419 | 71 | 53 | 19 | 1,305 | 2,273 | 5,803 |
| 17年度 | 6 | 129 | 2,642 | 1 | 196 | 366 | 0 | 479 | 3,819 | 131 | 0 | 0 | 513 | 78 | 44 | 19 | 1,161 | 1,946 | 5,765 |
| 18年度 | 7 | 124 | 2,242 | 0 | 0 | 187 | 0 | 399 | 2,959 | 0 | 11 | 0 | 457 | 67 | 40 | 27 | 1,383 | 1,985 | 4,944 |
| 19年度 | 7 | 132 | 2,089 | 0 | 1 | 331 | 0 | 466 | 3,026 | 158 | 238 | 0 | 364 | 76 | 40 | 27 | 1,220 | 2,123 | 5,149 |
| 20年度 | 6 | 120 | 2,176 | 0 | 1 | 189 | 0 | 460 | 2,952 | 104 | 17 | 77 | 364 | 85 | 39 | 18 | 1,212 | 1,916 | 4,868 |
| 21年度 | 18 | 68 | 1,970 | 44 | 2 | 247 | 0 | 489 | 2,838 | 0 | 0 | 101 | 1,040 | 276 | 36 | 17 | 3,938 | 5,408 | 8,246 |

施設の概要

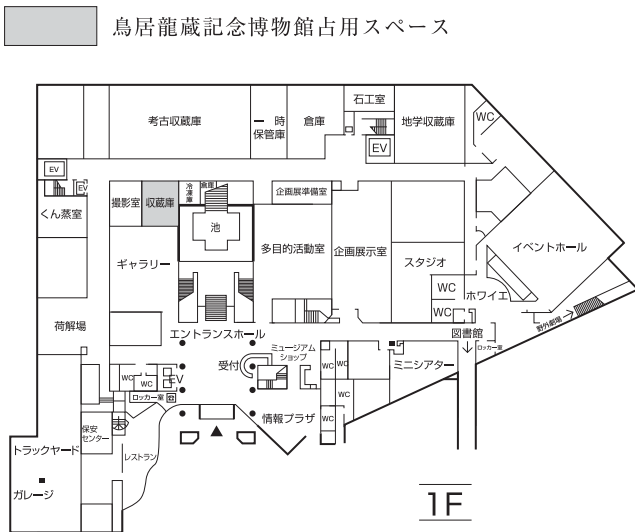
1. 沿革

- 昭和40年 3月 鳴門市撫養町の妙見山に旧館（徳島県立鳥居記念博物館）開館
- 平成18年 7月 鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会設置
- 19年12月 鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会が「鳥居龍蔵博士の顕彰等に関する検討委員会報告書」を知事に提出
- 20年 3月 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会設置
- 7月 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館展示検討委員会が「徳島県立鳥居龍蔵記念博物館（仮称）展示計画書」をとりまとめ
- 21年 3月 展示実施設計完了
- 7月 展示工事着手
- 22年 3月 旧館閉館
- 9月 展示工事竣工
- 11月 開館

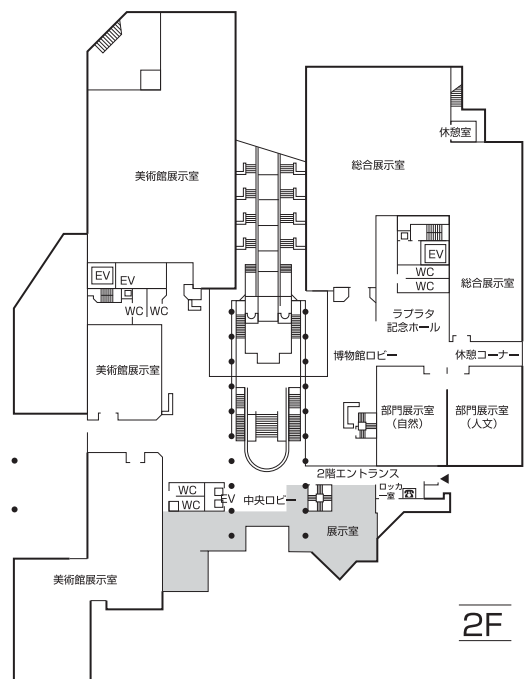
2. 施設の概要

- 所在地 徳島市八万町向寺山
- 敷地面積 40.6ha（文化の森総合公園全体）
- 延床面積 485㎡（展示室、収蔵庫、器材庫等鳥居龍蔵記念博物館占有スペース）
- 構造規模 鉄筋コンクリート造 地上4階・塔屋1階・地下1階
- 改築工事 岡島建築事務所（設計）・小野建設（施工）
- 展示工事 （株）丹青社（設計・施工）

1階平面図



2階平面図



(※) 鳥居龍蔵記念博物館の占有スペースのない階は平面図を省略した。

例 規

徳島県文化の森総合公園文化施設条例〔抜粋〕

制 定 平成2年3月26日 徳島県条例第11号

最近改正 平成25年3月22日 徳島県条例第24号

(設置)

第1条 個性豊かな県民文化を振興し、魅力のある地域づくりに寄与するため、県民の文化活動の拠点として、徳島県文化の森総合公園文化施設（以下「文化施設」という。）を徳島市八万町に設置する。

(名称及び業務)

第2条 文化施設の名称及び業務は、次のとおりとする。

| 名 称 | 業 務 |
|----------------------------------|--|
| 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 (以下「鳥居記念館」という。) | 1 鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。 2 鳥居記念館に関する調査研究を行うこと。 3 鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。 4 その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。 |

(徳島県立図書館、徳島県立博物館、徳島県立近代美術館、徳島県立文書館、徳島県立二十一世紀館の業務は省略)

(利用の許可)

第3条 (省略)

(観覧料等)

第4条 博物館が展示する博物館資料、美術館が展示する美術館資料又は鳥居記念館が展示する鳥居記念館資料を観覧する者に対しては、別表第1に掲げる額の観覧料を徴収する。

2 (省略)

3 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料の全額又は一部を免除することができる。

4 観覧料及び使用料の徴収の時期及び方法その他観覧料及び使用料に関し必要な事項は、規則で定める。

(損害の賠償)

第5条 文化施設を利用する者は、文化施設の施設、資料等をき損し又は亡失したときは、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事は、当該き損又は亡失がやむを得ない理由によるものであると認めるときは、その賠償責任の全部又は一部を免除することができる。

(職員)

第6条 図書館法（昭和25年法律第118号）及び博物館法（昭和26年法律第285号）に定めるもののほか、文化施設に、館長その他必要な職員を置く。

(協議会)

第7条 教育委員会の附属機関として、次の表の上欄に掲げる協議会を置き、これらの協議会の所掌事務は、それぞれ同表の下欄に掲げるとおりとする。

| 協 議 会 の 名 称 | 所 掌 事 務 |
|------------------|--|
| 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会 | 鳥居記念館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べること。 |

(他館の各協議会の所掌事務は省略)

- 2 協議会は、委員10人以内で組織する。
- 3 徳島県立図書館協議会、徳島県立博物館協議会、徳島県立近代美術館協議会及び徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから任命するものとする。
- 4 (省略)
- 5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 委員は、再任されることができる。
- 7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(教育委員会規則への委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、文化施設の管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

別表第1 (第4条関係)

| 区 分 | 単 位 | 金 額 | | | |
|------------------------------------|------|-------|-------------------|-------------|-----|
| | | 常 設 展 | | 企 画 展 | |
| | | 個 人 | 団体(20人以上をいう。以下同じ) | 個 人 | 団 体 |
| 小学校の児童及び中学校の生徒 | 1人1回 | 50円 | 40円 | 知事はその都度定める額 | |
| 高等学校の生徒並びに高等専門学校及び大学の学生並びにこれらに準ずる者 | 1人1回 | 100円 | 80円 | | |
| その他の者(学齢に達しない者を除く。) | 1人1回 | 200円 | 160円 | | |

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館管理規則

制 定 平成22年3月31日 徳島県教育委員会規則第4号

最近改正 平成24年11月7日 徳島県教育委員会規則第11号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館(以下「鳥居記念館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第2条 鳥居記念館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1)月曜日 ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その後においてその日に最も近い休日でない日
- (2)12月29日から翌年の1月4日までの日

2 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館長(以下「館長」という。)は、特に必要があると認めたときは、前項の規定にかかわらず臨時に休館し、又は同項に規定する休館日に開館することができる。

(供用時間)

第3条 博物館の供用時間は、午前9時30分から午後5時までとする。

2 館長は、特に必要があると認めたときは、前項の規定にかかわらず、同項に規定する供用時間を変更することができる。

(遵守事項)

第4条 鳥居記念館を利用する者は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例(平成2年徳島県条例第11号)及びこの規則並びに館長が別に定める利用者心得その他の規律を守らなければならない。

(入館の禁止等)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

- (1)泥酔者及び伝染性の疾病にかかっていると認められる者
- (2)前条の規定に違反し、又はそのおそれがある者

(資料の特別利用)

第6条 学術その他の目的のために鳥居記念館資料の撮影、模写等をしようとする者は、あらかじめ、館長の承認を受けなければならない。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、鳥居記念館の管理に関し必要な事項は、館長が定める。

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会規則

制 定 平成22年3月31日 徳島県教育委員会規則第5号
最近改正 平成24年3月30日 徳島県教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、徳島県文化の森総合公園文化施設条例(平成2年徳島県条例第11号)第7条第7項の規定に基づき、徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に、会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(雑則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

徳島県教育委員会行政組織規則〔抜粋〕

制 定 昭和45年3月31日 徳島県教育委員会規則第4号
最近改正 平成25年3月29日 徳島県教育委員会規則第2号

第1章 総 則(省略)

第2章 事務局(省略)

第3章 教育機関〔鳥居龍蔵記念博物館に該当する条項のみの抜粋〕

第4節 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

(名称及び位置)

第27条 文化施設条例により設置された徳島県立鳥居龍蔵記念博物館(以下「鳥居記念館」という。)の名称及び位置は、次の表に掲げるとおりとする。

| 名 称 | 位 置 |
|---------------|-----------|
| 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 | 徳島市八万町向寺山 |

(内部組織)

第28条 鳥居記念館に学芸課を置く。

(業務)

第29条 鳥居記念館の業務は、次の各号に掲げるとおりとする。

- 1 鳥居龍蔵に関する資料（以下「鳥居記念館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- 2 鳥居記念館資料に関する調査研究を行うこと。
- 3 鳥居記念館資料に関する講座等の教育普及事業を行うこと。
- 4 その他鳥居記念館の設置の目的を達成するために必要な事業を実施すること。

第6節 職及び職務

（所長等の職務）

第32条 総合教育センター及び埋文総合センターの所長、文書館及び二十一世紀館の館長は、上司の命を受け当該教育機関の事務をつかさどり、所属職員を指揮監督する。

（副所長等）

第33条 上司の命令を受け、教育機関の長を補佐させるため、次の表の上欄に掲げる職を同表の相当下欄に掲げる教育機関に置く。

| 職 | 教育機関 |
|-----|------------------------------|
| 副館長 | 図書館、博物館、美術館、文書館、二十一世紀館、鳥居記念館 |

- 2 教育機関の長に事故があるとき、又は教育機関の長が欠けたときは、教育委員会が指定する職員が、その職務を代行する。ただし、やむを得ない事由により教育委員会が教育機関の長の職務を代行する職員を指定することができないときは、当該機関に属する副所長、次長又は副館長(二人以上置かれているときは、当該教育機関の長が指定する次長又は副館長)が、その職務を代行する。

（主幹等）

第34条 前条に規定する職のほか、教育機関に、次の表の上欄に掲げる職のうち必要な職を置き、その職務は、それぞれ同表の相当下欄に掲げるとおりとする。

| 職 | 職務 |
|-------|---|
| 課長 | 上司の命を受け、課の事務を処理する。 |
| 上席学芸員 | 上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の重要施策又は重要事業の推進に関する専門的事務に従事する。 |
| 専門学芸員 | 上司の命を受け、高度の知識又は経験を必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。 |
| 学芸係長 | 上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に関し命ぜられた事項を処理する。 |
| 主任 | 上司の命を受け、相当の知識又は経験を必要とする事務又は技術もしくは専門的事務に従事する。 |
| 主任学芸員 | 上司の命を受け、相当の経験を必要とする博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。 |
| 学芸員 | 上司の命を受け、博物館、美術館又は鳥居記念館の専門的事務に従事する。 |

（司書、技師その他鳥居記念館に置いていない職は省略）

第4章 附属機関

（附属機関）

第37条 附属機関の名称、庶務を担当する課等又は教育機関は、次の表に掲げるとおりとする。

| 名称 | 庶務を担当する課等又は教育機関 |
|------------------|-----------------|
| 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館協議会 | 鳥居記念館 |

（事務局の各審議会、他館の協議会等は省略）

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館年報 第3号(平成24年度)

平成25年(2013)7月31日 発行

編集・発行：徳島県立鳥居龍蔵記念博物館

〒770 8070 徳島市八万町向寺山

(文化の森総合公園内)

Tel. 088 668 2544 Fax. 088 668 7197

Eメール torii-museum@mt.tokushima-ec.ed.jp

ホームページ <http://www.torii-museum.tokushima-ec.ed.jp/>

印 刷：原田印刷出版株式会社
